

~~~~~

## 玉宮小学校

~~~~~

「個を高める 確かな学力の育成」

～少人数学級での主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり～

I はじめに

本校ではこれまで、単元や授業の目標を達成するために、言語活動・観察・実験・問題解決的な学習などを効果的に取り入れることで、「知識」「技能」「思考力」「判断力」「表現力」をバランスよく育むための取組を充実させてきた。校内研究では、昨年度より新学習指導要領の改訂に向けて、新たに研究主題を設定し取り組んできた。そこで、「主体的・対話的で深い学び」についての文科省関係講師による研修VTRや授業研究を通して「主体的・対話的で深い学び」についての理解を図ってきた。今後さらに、「主体的・対話的で深い学び」について「主体的」とは何か、「対話的」とは何か、「深い学び」とは何か、またそれらを目標とした児童の反応や行動について考えを共通理解し研究を深めていきたい。そして、「主体的・対話的で深い学び」についての系統性を考えた到達目標の設定や目標到達を検証するための定義設定ができるよう、研究を前進させていきたいと考える。また、甲州市の「確かな学力育成プロジェクト」と連携し、「主体的・対話的で深い学び」を達成する授業づくりを進めていく。

II 研究の方法と内容

1 授業づくり

(1) 授業研究

- 全学級による授業実践
- 指導主事を招聘しての授業研究

(2) 児童の実態の把握

- 全国学力・学習状況調査の問題と結果の分析
- 「h-QU」による各学年の児童の実態把握

(3) 理論研究

- 新学習指導要領や教育課程編成に関する研究
- 指導主事やインターネット講義による研修
- 各種研修内容の還流報告（道徳，学力調査，外国語）
- 道徳についての研究

(4) 地域学習

- 地域学習の取組

(5) 学習規律・習慣の確立

- 「h-QU」を生かした学級集団づくり
- 朝学習の時間の有効活用

Ⅲ 研究実践

1 学習会

- ・「主体的・対話的で深い学び」についての研修

総合教育センター 笠井さゆり副主幹・指導主事

- ・「道徳科における評価」についての研修

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 浅見哲也様

(独立行政法人教職員支援機構 ホームページ校内研修より)

- ・「スクラッチ」を使ったプログラミング学習についての研修

研究主任 滝島正彦 教諭

2 ふるさと学習発表会

- ・地域学習についての発表

3 授業実践

- | | | |
|---------|-------------------|---------|
| ・第1学年 | 国語科「くじらぐも」 | 青木 恵 教諭 |
| ・第2学年 | 算数科「あたらしい計算を考えよう」 | 田邊真由美教諭 |
| ・第4学年 | 算数科「広さを調べよう」 | 田中 美穂教諭 |
| ・第4学年 | 国語科「ごんぎつね」 | 滝島 正彦教諭 |
| ・第5学年 | 国語科「面積の求め方を考えよう」 | 中村 正義教諭 |
| ・第6学年 | 国語科「やまなし」 | 古屋 岳治教諭 |
| ・わかたけ学級 | 国語科「お話の作者になろう」 | 川崎 幸江教諭 |
| ・たけぶえ学級 | 国語科「お手紙」 | 古屋美知子教諭 |

Ⅳ 成果と課題

1 成果

- ・新しい学習指導要領の完全実施に向け、丁寧に話し合いや研修を積み重ねたので、少人数での主体的・対話的で深い学びの実現に向けた研究になっていた。
- ・道徳教育や「主体的・対話的で深い学び」の授業改善などの現代的な課題について実践的な研修が計画され、教職員の力量を上げる研修ができた
- ・一人一実践において、すべての先生方の授業を見せていただいたことで、「深い学び」への進め方や、前時までの振り返りの方法など、勉強になることが多くとてもよかった。

2 課題

- ・児童の実態に合わせて主体的・対話的で深い学びができる授業を構成するために、自身のさらなるスキルアップの必要を感じる。
- ・児童の実態が変化するので、児童の実態に合った主体的・対話的で深い学びができる課題の持ち方や展開の仕方について研究を進めていく必要がある。

Ⅴ 成果物

- ・学習指導案及び実践記録
- ・地域学習資料

(研究主任 滝島正彦)